

# 水遊都市 KOSHIGAYA ギネス世界記録へ

ブランドメッセージとして策定した「水遊都市KOSHIGAYA」を折り紙で表現してギネス世界記録に挑戦します。チャレンジする記録は、“折り紙で作った最大の言葉”。現在の記録は2024年2月に福岡県大牟田市で達成した1万3,079枚です。

この記録を超える1万5,000枚を目指し、市民のみなさんが折り紙で作った越谷市の鳥「シラコバト」を集め、記録の達成に向け地域を盛り上げます。

新たな都市伝説を  
市民のみなさんと  
一緒に作ります！

## 挑戦する記録

### 『折り紙で作った最大の言葉』

## ギネス世界記録挑戦イベント

開催日時 **3月16日(日)10:00～16:00**

会場 **市役所エントランスホール**

ギネス世界記録挑戦イベント内では、折り紙作成ブースや新ロゴマーク作成ブースのほかにも、さまざまなイベントが盛りだくさん！

**水遊ステージ** 吹奏楽の演奏やゴスペルの斉唱なども開催します！

**水遊マルシェ** キッチンカーなどによる飲食品等の販売も予定しています！

問 広報シティプロモーション課 ☎967-1325、HP 98972



## ギネス世界記録樹立の参加者募集

折り紙で市の鳥「シラコバト」を折ってくれるみなさんを募集します。参加申し込み方法や折り紙の配付場所など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



あなたのシラコバトが  
ギネス記録の一部に！

折り紙「シラコバト」のイメージ

## 越谷のおいしい魅力を紹介 Made in KOSHIGAYA

今が食べごろの季節！

# 冬春トマト

## 冬春トマトの特長

トマトといえば「夏」のイメージがありますが、もともとは南米のアンデス高原が原産地であり、厳しい気候を生きてきたと言われていいます。

日本で作られるトマトには、「冬春トマト」と「夏秋トマト」がありますが、実は「冬春トマト」の方が市場では人気があるそうです(※)。

夏に収穫されるトマトよりも、味が濃厚であるのが冬春トマトの特長。食べるとすぐに、トマトの香りと甘さが口の中に広がります。また、トマトに含まれるリコピンには、抗酸化作用があり免疫機能の向上や生活習慣病の予防・改善に効果があるといわれています。

※(※)…農林水産省「令和6年度冬春野菜等の需給ガイドライン」、「令和7年度夏秋野菜等の需給ガイドライン」より



小川さんが栽培するトマトは、「ハウス桃太郎」、「フルティカ」という品種で、どちらも冬春トマトです。3月ごろが旬で、さらに甘くなるといいます。

越谷の農産物といえば、越谷ねぎやいちご、山東菜などが挙げられますが、越谷産のトマトもすごくおいしいんです！

越谷で生産されているトマトの中でも、冬から春にかけて旬の時期を迎える冬春トマトをご紹介します。

## トマト栽培でのこだわり



小川農園 小川さん

「おいしい、また買いに来ます、と言われるときが一番やりがいを感じます」「もっとおいしく作ろうと励んでいます」—そう笑顔で語る小川さんはトマト栽培を引き継いで34年。肥料には魚粉や骨粉を使用するなど土づくりにもこだわっています。

「皆さんにトマトを食べてもらい、元気を出してもらえたらうれしいです」と話し、トマト一つ一つの状態を確認しながら大切に育てています。

## 読者クイズ

正解者10人(抽選)に越谷産冬春トマト(中玉約300g)をプレゼント！ 答えは今号の中にあります。

Q. 小川さんが栽培するトマトは、「●●●●●●」、「フルティカ」という品種。(●に入る言葉をご回答ください)

## 応募方法

3月14日(金)まで(消印有効)。電子申請、はがき(欄外上部の必須事項とクイズの答え、広報こしがやへのご意見・ご感想を明記)。応募は1人1回(記載不備は無効)。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。個人情報(住所)はプレゼントの発送のみに使用します。

問 広報シティプロモーション課 ☎963-9117、HP 78903